
公衆衛生看護実習Ⅱ

岩村 龍子 教授
岡本 光代 准教授
辻本 宏美 助教

4 年次前期・保健師コース必修

3 単位・135 時間

【概要・目的】

特定の健康課題・発達課題等をもつ小集団を対象とした地区活動の展開方法を習得する。その過程を通して、集団のヘルスニーズの明確化、ヘルスニーズに即した保健福祉サービスやケアシステムの適用・改善・創造、関係者・住民との連携・協働のあり方、保健師の役割について理解を深め、実践へ適応する能力を養う。

【到達目標】

- 1) 家族を単位として、主体的な健康課題解決への支援を実施、評価する。
 - 2) 対象集団を構成する個人・家族の健康・生活の実態や社会資源などについて情報収集しアセスメントすることで、対象集団のヘルスニーズを明らかにする（地域診断）。
 - 3) 対象集団の健康課題解決・改善に向けた地区活動の企画・実施・評価・次年度計画作成といった一連の過程を展開する。
 - 4) ヘルスニーズに即した地区活動の展開に際し関係者・機関、住民との連携・協働を模索し、有効なケア体制について発展的に考察する。
 - 5) ヘルスニーズに即した地区活動の充実・発展の方向性およびその中で保健師が果たすべき役割を考察する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 実習期間：3 週間
 - 2) 実習場所：保健所および市町村
 - 3) 実習方法：対象集団を構成する個人への家庭訪問、抽出した健康課題に関連する保健事業や会議等への参加、関連機関・関係者へのインタビュー、地域診断、健康教育等の地区活動計画作成・実施・評価、継続家庭訪問、次年度計画作成など
-

【評価】

実習目標に対する到達状況（60%）、実習への参加状況（20%）、実習記録（20%）により評価する。

【教科書】

宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学総論第3版」日本看護協会出版会
宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学各論1第3版」日本看護協会出版会
宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学各論2第3版」日本看護協会出版会

【推薦参考図書】

村嶋幸代編集「公衆衛生看護支援技術」メヂカルフレンド社
佐伯和子編著「地域看護アセスメントガイド第2版」医歯薬出版株式会社

【その他】

- ・詳細については実習前オリエンテーションで説明する。
- ・実習地までの通学定期を購入する場合は、実習開始の40日前までに事務室へ申し出ること。
- ・関連科目の学習資料をまとめ、復習しておくこと。